

元打橋補強工事の仮橋の架設が11月15日に行われました。
この工事は、阿武隈東道路改築事業のなかのひとつで、工事用道路を確保するために現在の橋の直下流に仮橋を設置するものです。
現在の元打橋は宇多川に架かる橋であり、相馬市山上字滝平地内にあります。
幅員4m、橋長44mの仮橋はクローラークレーンで架設されました。
「クローラークレーン」とは、走行する部分がクローラ、つまり戦車などに使われている鎖状のベルトになっていて、悪路でも走行が可能なクレーンです。
今回は、最大200tまで吊り上げることができるものを使用しました。
リーダーの高さは約50m。ビルにたとえると15階の高さと同じくらいでしょうか。いちどで仮橋を設置したのですが、ゆっくり、ゆっくり慎重に持ち上げられて移動する仮橋なのに、その迫力たるものや、ものすごいものでした。
この仮橋が設置完了すると、いよいよ大型車両で本格的な改良工事が始まる予定です。
阿武隈東道路が完成することにより、現在の一般国道115号の難点であった狭く危険な箇所への通行も免れることができ、また、災害時や緊急時の輸送路を確保することができます。



架設完了!

編集

国土交通省
福島河川国道事務所
信夫山国道出張所

〒960-0103
福島市本内字西松川畑2-2
電話 (024)553-2925